

Multi-Media DSP/BF53x 高性能の組み込み Linux システム

マニュアル

株式会社日昇テクノロジー

http://www.csun.co.jp

info@csun.co.jp

2009/3/6



copyright@2009



第一章DSP/BF53xボードの概要
1.1 仕様
1.2 使えるデバイス例7
第二章 DSP/BF53xがパソコンを繋ぐ
2.1 パソコンを繋ぐ
2.2 パソコン側のハイパーターミナルの設定9
第三章 uClinuxの初体験11
3.1 USBメモリの使用 12
3.2 SD/MMCメモリの使用
3.3 Nand flashの使用 12
3.4 RTCの設定 12
3.5 ネットワークの設定・テスト 12
3.6 FTPでファイルをアクセス 13
3.7 音声のテスト 13
3.8 CMOS画像センサーのテスト 14
第四章NTSC/PALビデオカメラ 16
1. ネットワークの環境の設定:17
2. TFTPでファイルをダウンロードする:17
3. NAND Flashに書き込む
4. ほかのU-bootの常用コマンド 19
第五章 uClinuxの開発
1. 開発ツールのインストール
2. hello worldプログラム

使用されたソースコードは<u>http://www.csun.co.jp/</u>からダウンロー ドできます。

第一章 DSP/BF53x ボードの概要





CPU プロセッサー

• Analog Devices 社の ADSP-BF531、周波数 400MHz、800MMAC の性能。

メモリ

• 32MB SDRAM, 256MB NAND Flash, 1MB EEPROM

周辺機能

- 10/100Base-T Ethernet(DM9000AE) x 1
- シリアルポート SCI0: RS232 x 1
- USB2.0 ホスト(ISP1362)×1
- NTSC/PAL ビデオ入力(SAA7113) x 1



- 30 万画像 CMOS CCD(OV7640) x 1
- 音声入出力(WM8731) x 1
- MMC/SD カードのソケット x 1
- RS232, SPI, PPI(ビデオ入出力), SPORT1(音声拡張), RTC, JTAG

搭載した OS



• ブートローダは U-boot-1.1.6

外形寸法

• 外形寸法: 130 × 90(mm) 突起物は除く

供給電源

 5VDC 電源、プラグ 1.3mmφ、極性はセンタープラス ⊖ー €ー ⊕ です。電源スイ ッチと電源指示 LED 付き



ブロック図



メモリマップ

0x0000,0000 – 0x01FF,FFFF	32M SDRAM
0x0800,0000 – 0x1FFF,FFFF	RESERVED
0x2000,0000 – 0x200F,FFFF	NANDFLASH
0x2010,0000 – 0x201F,FFFF	RESERVED
0x2020,0000 – 0x202F,FFFF	ISP1362(USB)
0x2030,0000 – 0x203F,FFFF	DM9000AE(LAN)
0x2040,0000 – 0xFF7F,FFFF	RESERVED
0xFF80,0000 - 0xFF80,3FFF	RESERVED
0xFF80,4000 - 0xFF80,7FFF	DATA BANK A SRAM/CACHE
0xFF80,8000 - 0xFF90,3FFF	RESERVED
0xFF90,4000 - 0xFF90,7FFF	DATA BANK B SRAM/CACHE
0xFF90,8000 – 0xFF9F,FFFF	RESERVED
0xFFA0,0000 – 0xFFA0,7FFF	RESERVED



0xFFA0,8000 - 0xFFA0,FFFF	INSTRUCTION SRAM
0xFFA1,0000 - 0xFFA1,3FFF	INSTRUCTION SRAM/CACHE
0xFFA1,4000 – 0xFFAF,FFFF	RESERVED
0xFFB0,0000 - 0xFFB0,0FFF	SCRATCHPAD SRAM
0xFFB0,1000 – 0xFFBF,FFFF	RESERVED
0xFFC0,0000 – 0xFFDF,FFFF	SYSTEM MMR
0xFFE0,0000 – 0xFFFF,FFFF	CORE MMR

PF & 割り込みの配分

PF0	ソフト I2C の SDA			
PF1	ソフト I2C の SCL			
PF2	SPI_FLASH ($M25P80$) \mathcal{O} CS			
PF3	PPI_FS3			
PF4	SD カードの挿入割り込み			
$\mathbf{PF5}$	SD カードの Lock			
PF6	NAND_FLASH の BUSY			
PF7	SD カードの CS			
PF8	未使用			
PF9	未使用			
PF10	DM9000AE の割り込み			
PF11	ISP1362 の割り込み			
PF12	PPI17			
PF13	PPI16			
PF14	PPI15			
PF15	PPI14			



1.2 使えるデバイス例



外付けハードディスク



SD/MMC メモリ



USB HUB



USB マウスとキーボード







NTSC/PAL ビデオカメラ

付属のドライバ以外は、使えない可能性があります。



第二章 DSP/BF53x がパソコンを繋ぐ

2.1 パソコンを繋ぐ



付属 DB9 メス型 RS232 カーブルを間違わないように DSP/BF53x ボードの RS232 ポート に挿入して、RS232 ケーブルでパソコンのシリアルポートを繋いでください。



パソコンにRS232ポートがなければ、USB-RS232変換アダプタを使用してください。

USB-RS232 変換アダプタ別売



2.2 パソコン側のハイパーターミナルの設定

パソコンのメニュー : **スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → 通信 → ハイ** パーターミナルを選ぶと、次の画面が出てきます。

接続の設定	? 🗙
単う 新しい接続	
名前を入力し、アイコンを選んでください:	
名前(N):	
BF53x	
🏽 🍣 🌭 🖳 🧐 🔊	ÚS -
	>
	+711
	270

このハイパーターミナルの名前を入力して、"OK"ボタンを押すと。

接続の設定	? 🛛
🦓 BF53x	
電話番号の情報を	入力してください。
国/地域番号(<u>C</u>):	日本 (81)
市外局番(E):	042
電話番号(<u>P)</u> :	
接続方法(N):	COM1 🖌
	OK キャンセル

使用したいシリアルポートを選んでください。



сом1のプロパティ ? 🔀
ポートの設定
ビット/秒(B): 57600 マ
データ ビット(<u>D</u>): 8
パリティ(P): なし 💌
ストップ ビット(<u>S</u>): 1
∇□-制御(<u>F</u>): なし ▼
既定値に戻す(E)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

シリアル通信速度を 57600bps に設定してください。フロー制御はなしです。

"OK"ボタンを押すと、設定が完了します。

10





DSP/BF53x ボードが動く様子

第二章の通りに動作環境を設定して、DSP/BF53x ボードに電源を入れると、U-Boot の画 面が出てきます。3 秒間以内キーを押せなければ、自動的に uClinux をブートローダしま す。

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(I) ヘルプ(H)	
Have a lot of fun yaffs: dev is 32505857 name is "mtdblock1" yaffs: Attempting MTD mount on 31.1, "mtdblock1" block 13 is bad block 15 is bad block 239 is bad block 239 is bad block 707 is bad block 707 is bad block 709 is bad block 1037 is bad block 1037 is bad block 1037 is bad block 1041 is bad block 1041 is bad block 1973 is bad	
接続 0-03:37 ANSIW 57600 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印	



3.1 USB メモリの使用

USB メモリを USB ホスト又は USB ハブに挿入して、次のコマンド: root:/> mkdir /mnt/udisk root:/> mount -t vfat /dev/sda /mnt/udisk root:/> ls /mnt/udisk

3.2 SD/MMC メモリの使用

SD/MMC メモリは SD/MMC スロットに挿入して、次のコマンド: root:/> mkdir /mnt/sd root:/> mount -t vfat /dev/spi_mmc1 /mnt/sd 最大 2GB までの SD/MMC メモリが使えます。

3.3 Nand flash の使用

起動の時、uClinux は自動的に Nand flash をディレクトリ/mnt/flash にマウントしました。 Nand flash に保存されたファイルは電源がなくでも残っています。 root:/> umount /mnt/flash root:/> mount -t yaffs2 /dev/mtdblock1 /mnt/flash

3.4 RTC の設定

3.5 ネットワークの設定・テスト

root:/> dhcpcd eth0 -t 0& #IP アドレス自動的に取得する。 root:/> ifconfig eth0 192.168.3.50 netmask 255.255.255.0 up #手動的取得する。 root:/> route add default gw 192.168.3.1 # ゲートウェイの設定 root:/> echo nameserver 192.168.3.1 > /etc/resolv.conf # DNS の設定 root:/> ping www.yahoo.co.jp #ネットワークのテスト



3.6 FTP でファイルをアクセス

root:/> ftpget -u a -p a 192.168.0.80 local-file remote-file

```
または
```

root:/> ftp 192.168.0.80

🏶 531_	com6 -	超级终端	3					
文件 (E)	编辑(E)	查看 (V)	呼叫(C)	传送 (I)	帮助(H)			
🗋 🗃	83	<u>∎C</u> (1)	P					
Definition	t:/mnt nected Gene6 e (192 Passw sword: User ote sy ng bin bina Type > get	/flas to 1 FTP 168. ord r a log stem ary m ry set t imgvie	A → ftp 92.168. Server 0.80:rc equired ged in. type is ode to o I. ew w remotion	192.1 0.80. v3.9. v3.9. i for i for trans	168.0.8 0 (Bu: a. a. {. sfer f:	30 ild 2) iles.	ready	
200 150 226 113	Port Openi File 564 by	comma ng da sent tes r	nd succ ta conr ok. eceived	essfu ections in () secs	imgvie (1032	w (113564 Kbytes/se	bytes c)

3.7 音声のテスト

root:/> mp3play your.mp3 #MP3ファイル root:/> play -srw -f 48000 48k.wav #WAVファイル

root:/> echo 100 > /proc/asound/wm8731L/wm8731_vol 音のボリュームの調整、100 は最大、0 は最小です。

root:/> audio_test #MICのテスト root:/> vrec -rw -t 10 -s 48000 -b 16 test.wav #録音



3.8 CMOS 画像センサーのテスト



写真のようなジャンパーを設定して、CMOS センサーの上に付属レンズを載せてください。

DSP/BF53x のコンソールで次のコマンドを入力します。 root:/> imgview 192.168.0.80

192.168.0.80はパソコンのIPアドレスです



パソコンでPCserver.exeを実行してください。パソコンはCMOSセンサーのビデオを見えます。





第四章 NTSC/PAL ビデオカメラ



写真のようなジャンパーを設定して、NTSC/PAL ビデオカメラを挿入してください。



🗞 bf53x ー ハイパーターミナル ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルブ(H) D 🗃 💮 🕉 🗈 🗃 😭 U-Boot 1.1.6 (ADI-2008R1) (Aug 1 2008 - 17:08:59) CPU: ADSP bf531-0.4 (Detected Rev: 0.5) Board: LivenTop BF531 board Support: http://www.liventop.com/ Clock: VCO: 405 MHz, Core: 405 MHz, System: 101 MHz 32 MB RAM: 248 erase regions found, only 4 used Flash: 0.1 kB In: serial Out: serial serial 256 MiB MAC: (Err NAND : Net: I2C: 02:80:AD:20:31:B9 ready Hit any key to stop autoboot: 0 bfin> _ 接続 0:10:10 ANSIW 57600 8-N-1 NUM ++

DSP/BF53xボードの起動の時、3秒間以内キーを押すと、U-bootのコンソールに入ります。 U-boot で NTSC/PAL ビデオカメラのドライバを含む uClinux を更新します。

1. ネットワークの環境の設定:

bfin> setenv serverip 192.168.0.80	#DSPBF53x ボードの IP アドレスの設定
bfin> setenv ipaddr 192.168.0.50	#サーバの IP アドレスの設定
bfin> setenv gatewayip 192.168.0.1	#ゲートウェイの IP アドレスの設定
bfin> saveenv	#環境変数の保存
bfin> ping 192.168.0.80	#ネットワークのテスト

2. TFTP でファイルをダウンロードする:

uClinux のイマージファイルをサーバから tftp でダウンロードしてください。 bfin> tftp 1000000 uImage_CVBS uImage_CVBSはNTSC/PALビデオカメラのドライバを含むuClinuxの イマージファイルです。



bt53x - ハイパーターミナル []	
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) 通信(C) 転送(T) ヘルブ(H) D c2 の 家 =D 29 の9	
stdout=serial stderr=serial	
Environment Size: 09270100 bytes bfin> tftp 1000000 uImage_CVBS dm9000 i/o: 0x20300000, id: 0x90000a46 MAC: 02:80:ad:20:31:b9 operating at 100M full duplex mode IEID from server 192 168 3 2: our IP address is 192 168 3 230	
Filename 'uImage_CVBS'. Load address: 0x1000000 Loading: ####################################	
H####### done Bytes transferred = 2957891 (2d2243 hex) bfin>	

ファイルのダウンロードの時、「checksum bad」のメッセージがあるかもしれません。 U-boot は自動的に再転送しますので、心配することが必要ないです。

3. NAND Flash に書き込む

まず、NAND Flash を検査します。NAND Flash の中に bad area があるかもしれません。 bfin> nand scrub

ダウンロードしたファイルを NAND Flash に書き込みます。

bfin> nand write.jffs2 1000000 0 400000



書き込み完了すると、DSP/BF53xボードをリセットして、新uClinuxで起動するはずです。



3.8 節の通りに、NTSC/PAL ビデオカメラの画像をパソコンで見えます。

4. ほかの U-boot の常用コマンド

bfin> printenv #すべての環境変数をリストする bfin> setenv envname # envname の後ろにパラメータがなければ、envname を削除する bfin> help #U-boot のコマンドをすべてリストする

第五章 uClinux の開発

1. 開発ツールのインストール

rpm –Uvh blackfin-toolchain-08r1-8.i386.rpm

rpm -Uvh blackfin-toolchain-uclibc-full-08r1-8.i386.rpm

使いやすいため、「export PATH= \$PATH: /opt/uClinux/bfin-uclinux/bin: /opt/uClinux/bfin-linux-uclibc/bin」を.bashrc ファイルに入れてください。 最新のBF53xの開発ツールはウェブサイト<u>http://blackfin.uclinux.org/</u>からダ ウンロードできます。

2. hello world プログラム

```
ソースコード hello.c
```

```
#include <stdio.h>
int main()
{
    printf("Hello, World¥n");
    return 0;
}
```

ソースコードをコンパイルします。

\$ bfin-uclinux-gcc -Wl,-elf2flt hello.c -o hello

実行ファイル hello を生成させます。DSP/BF53x ボードで実行すると root:/> ./hello Hello, World 詳しい情報は<u>http://docs.blackfin.uclinux.org/doku.php</u>を参照してください。